

『海洋情報技術』プログラミング

教科書内で使用されている BASIC プログラミングソフトは、情報通信部会 HP よりダウンロードできます。また、プログラミング指導書も掲載されています。



情報通信部会 HP にアクセスする。

<https://www.zensui-joutsuubu.com/>



『海洋情報技術教科書用 BASIC ソフトのダウンロード』から、ソフトウェアをダウンロードします。 ※使用方法も記載されています。



このソフトを使用した、プログラミング指導書も掲載されています。16 時間分の授業内容 + 4 本のゲームプログラムが記載されています。

Copyright © 2020 東京海上保安庁情報技術学校 教員 山崎 博

海洋情報技術 [プログラミング] 2 時間目

Step01 前回の確認

```

Cls
Input "値を入力してください", A
Print A
    
```

Step02 条件によって判断させるプログラム

```

Cls
Input "点数を入力してください", A
If A<30 Then
Print "赤点"
Else
Print "合格"
End If
    
```

※点数が 30 未満のとき「赤点」と表示し、それ以外のとき「合格」と表示する。

```

If 条件 Then
条件が満たされているとき実行するプログラム
Else
条件以外の場合実行されるプログラム
End If
    
```

※If の終わりは、必ず End If で閉めます。
※Else の省略がない場合は省略できます。

練習問題

問題 1 数値を入力して、50 以上なら「A 班」、それ以外なら「B 班」と表示してみよう。

```

Cls
Input "数値を入力してください", A
If A>=50 Then
Print "A 班"
Else
Print "B 班"
End If
    
```

問題 2 数値を入力して、100 以下のときだけ「範囲内」と表示してみよう。

```

Cls
Input "数値を入力してください", A
If A<=100 Then
Print "範囲内"
End If
    
```

問題 3 2 つの数、A と B を Input 命令で入力し、大きいほうの値を表示してみよう。

```

Cls
Input "値 A を入力してください", A
Input "値 B を入力してください", B
If A>B Then
Print A
Else
Print B
End If
    
```

※学生利用で実行に当たって、全員ができる範囲は数値を定めて、それ以上より大きな生徒の応用問題とするといえます。

応用 1 カレンダーの月を考えたとき、月の数を入力して、1 より小さければ「小さいです」、12 より大きければ「大きいです」と表示してみよう。

```

Cls
Input "月を入力してください", Tuki
If Tuki<1 Then
Print "小さいです"
End If
If Tuki>12 Then
Print "大きいです"
End If
    
```

応用 2 3 つの数値を入力して、一番大きい数値を表示してみよう。

```

Cls
Input "数値 1 を入力してください", A
Input "数値 2 を入力してください", B
Input "数値 3 を入力してください", C
If A>B Then
If A>C Then
Print A
Else
Print C
End If
Else
If B>C Then
Print B
Else
Print C
End If
End If
    
```

練習問題 (約 60 分)

プログラムの解説と実行確認 (約 20 分)

練習問題 (約 60 分)

評価のポイント

評価項目	評価内容	知能・技能	態度・行動・意欲	主体的に学習に取り組む態度
1	自分でプログラミングの作成が出来ること	プログラミングの導入に自信が持てること	授業中のプログラミングの作成に積極的に取り組むこと	プログラミングの学習の楽しさを感じること

5